

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）	
太郎丸博		taroumaru.hiroshi.7u@kyoto-u.ac.jp	
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
松田 素二		京都大学 文学部 文学研究科 / 教育学部 教育学研究科	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会学演習II(社会学実習)	KYTa-170702-0	22人	

I. 調査実習に関するコメント	
学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：	
II. 調査の企画・設計（デザイン）	
1. 調査のテーマ／領域： 京大生の科学観と保守性	
2. 調査の内容／概要： 科学者や研究機関に対する信頼度や科学の価値の評価と保守的な態度の関係を調査した。	
3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）： 京都大学の学部の授業を6つ程度抽出（無作為抽出ではなく、受講学生が最低でも20人以上あり、受講生の重なりがあまりなく、担当の学生の都合がつくような時間帯のものを有意抽出）した。	
4. 主な調査項目： 科学に対する評価、研究機関、マスコミ、企業、政府への信頼度、呪術信仰、性役割意識、安倍内閣支持度、権威主義的態度	
III. データ収集の方法と結果	
5. データ収集（現地調査）の方法： 集合自記式	
6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数： 10月の第2～4週にかけて、京都大学の教室で行った。調査員は受講学生22名全員である。	
7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票及び回収率を必ず記入）： 無作為抽出ではなく、出席者にサンプルが偏っているため、代表性は低いが、パイロット調査として価値があると考えられる。有効回収票数は424。回収率は計算できない。	
IV. データ分析の方法と結果	
8. データ分析／解釈の方法： 単純集計、ヒストグラム、グループ別の平均値のプロット（95%信頼区間つき）、相関行列、主成分分析、因子分析、回帰分析	
9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）： 保守的であるほど科学に否定的という傾向がある程度見られたが、呪術信仰（占いや姓名判断等への信仰）は、他の保守的な態度を統制すると、プラスの効果があった。つまり、それらの呪術を信じているものほど、科学に対しても肯定的という傾向が若干見られた。	
10. 報告書刊行の予定と概要： 京都大学レポジトリ KURENAI で公開済み	